

令和3年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会
第2回定例会会議録

1 開催日時 令和4年2月7日(月)午後2時45分から午後3時8分まで

2 開催場所 小牧岩倉エコルセンター 2階研修室

3 出席委員

余語 正義	委員長	舟橋 逸喜	副委員長	余語 延孝	委員
高田 良	委員	木村 信昭	委員	小保 計二	委員
松浦 悟示	委員	倉知 利之	委員	永江登良行	委員
浅井 実男	委員	村上 邦明	委員	服部 逸男	委員
河村 典久	委員(学識経験者)			片岡 和浩	委員
鈴木 尚紀	委員	隅田 昌輝	委員		

欠席委員

加茂 達郎 委員

事務局

永井 浩仁	事務局長	三島喜久男	業務課長
後藤 文寿	総務課長	熊崎 礎功	業務課長補佐
服部 和宏	業務課副主幹兼業務係長	今枝 里美	総務課長補佐
佐藤 豪洋	業務課施設管理係長	堀田 易伯	総務課会計係長

4 議題

令和3年下半期管理状況について

5 その他

新型コロナウイルスに対するアルコール消毒の効果について

6 会議資料

- ・下半期埋立実績
- ・新型コロナウイルスはアルコールに弱い(河村委員提供資料)

7 議事内容

後藤総務課長：本日は、お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます

います。定刻となりましたので、ただいまから令和3年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第2回定例会を開会いたします。なお本日は、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、お茶のご用意を控えさせていただいておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。それでは、次第に従いまして、委員長にごあいさつを頂きたいと思っております。

余語委員長：あいさつ

後藤総務課長：ありがとうございます。本日の出席委員は、16名であります。環境センター処分場管理委員会要綱第6条の規定により、会議は成立いたします。よって、これ以降の議事の取り回しにつきましては、委員長にお願いいたします。

余語委員長：それでは、議題1「令和3年下半期管理状況について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

三島業務課長：それでは、令和3年下半期の管理状況について、報告させていただきます。

1 ページをご覧ください。下半期埋立実績です。7月から12月までの下半期合計は、搬入日数71日で、埋立物は23.00t、覆土量を合わせた容積換算量の合計で15.19m³でした。前年と比較しますと、埋立量は率で、25.36%の減少となりました。減少の主な理由は、埋立ごみで火災廃材の減少によるものです。

続きまして、2ページをご覧ください。上の写真が、令和4年1月に埋立地内を撮影した埋立現況写真です。下の平面図は、令和3年12月末の埋立現況図で、青色の部分が令和2年12月までに埋立済みの部分、緑色の部分は、令和3年1月から6月までの上半期の埋立部分、ピンク色の部分が令和3年7月から12月までの下半期の埋立部分になります。実埋立容量の267,700m³に対し、埋立量は196,776.96m³で、埋立率は、73.51%となっています。

続きまして、3ページをご覧ください。令和3年下半期の調査概要です。(1) 目的は、条例に定める公害防止計画に基づき、最終処分場の敷地境界等における騒音、振動、悪臭及び水質を測定することにより、住民の健康を保護するとともに、生活環境を保全することを目的としております。(2) 測定機関は、(株)エヌ・イーサポート名古屋支店です。

(3) 測定項目は、①原水水質、②騒音・振動、③悪臭、④下水道放流水、⑤地下水水質です。(4) 測定箇所は、4 ページに示すとおりとなっております。

続きまして、5 ページをご覧ください。水質検査等の測定結果としまして、1 原水の水質測定結果です。令和3年7月6日の測定結果は、水素イオン濃度 pH8.0、生物化学的酸素要求量 29mg/L、化学的酸素要求量 29mg/L、浮遊物質量 51mg/L、窒素 23mg/L、電気伝導度 260ms/m、塩化物イオン 690mg/L、水温 22.3℃、測定1か月前の降雨量は 204.0 mm、降雨日数 16 日、測定当日の天候は曇、測定前日の天候も曇でした。11月16日につきましても同様に測定を行い、結果につきましては表中に記載されたとおりです。

続きまして、2 騒音測定結果をご覧ください。12月21日から22日にかけて測定を行いました。測定地点①、昼間が 42dB、朝が 43dB、夕が 42dB、夜間が 40dB、測定地点②につきましても同様に測定を行い、結果につきましては表中に記載されたとおりです。

続きまして、3 振動測定結果をご覧ください。騒音測定と同様に 12月21日から22日にかけて測定を行いました。測定地点①、②共に、昼間、夜間共に 30dB 未満で、基準値以下の値でした。

続きまして、4 悪臭測定結果をご覧ください。測定は、12月13日に行いました。測定項目はアンモニアからキシレンまでの 22 項目です。項目1のアンモニアの測定値は、測定場所①、②共に 0.1ppm 未満でした。以下項目 22 のキシレンまで測定を行ない、全て基準値以下の値でした。

続きまして、6 ページをご覧ください。5 下水道放流水の水質測定結果です。7月から12月まで毎月測定を行いました。健康項目の項目1のカドミウム及びその化合物から、項目28の1,4-ジオキサンまでと、生活環境項目の項目1の水素イオン濃度から項目16の燐含有量まで、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては表中に記載されたとおりで、全て基準値以下の値でした。表中の測定日につきまして、12月7日に再測定となっております理由は、11月分として11月16日に測定を行い、11月30日に分析結果の報告がされましたが、報告では、その他項目の電気伝導度と塩化物イオンの値が通常の 1/20 以下しかなかったため、11月16日の採水に問題があった可能性が高いとの判断によりまして、12月7日に再測定を行いました。測定結果につきましては、表中に記載のとおり通常と変わりのない値でした。11月16日の採水における問題としましては、下水道放流水を溜めておく水槽とその放

流配管の洗浄を行うため、水槽内に水道水を溜めて洗浄作業を行いました。水処理施設の運転再開後水槽内に残っていた水道水が下水道放流水と完全に入れ替わっておらず、採水時に水道水の混ざった水を採水してしまったためと考えられます。再発防止対策としましては、水槽内を洗浄した場合は数日運転を行うなど、水槽内の水が完全に入れ替わってから測定を行うように徹底してまいります。

続きまして、7ページをご覧ください。6地下水の水質測定結果です。測定は、11月16日に行いました。人の健康の保護に関する環境基準の項目1のカドミウムから項目28の1,4-ジオキサンまでと、生活環境の保全に関する環境基準の項目1の水素イオン濃度から項目16の燐まで、その他の4項目の測定を行い、結果につきましては表中に記載されたとおりで、全て基準値以下の値でした。なお、7月と9月には、生活環境の保全に関する環境基準の項目1、2、4、5とその他の1、3、4も合わせて測定を行っております。11月の測定結果にて、その他項目の電気伝導度と塩化物イオンの測定地点No.2の値が通常より高くなっております。11月30日に分析結果が報告されましたので、組合にて簡易測定を行ったところ報告のように通常より高い値を確認しましたが、「人の健康の保護に関する項目」と「生活環境の保全に関する項目」共に基準値内の数値であり、重金属等は検出されておられません。現時点で原因を特定するには至っていないため、経過管理を行い、水質の変化に注視してまいります。8ページについては、用語の資料となっております。

以上で報告を終わります。

余語委員長：事務局の説明は終わりました。これについて質問はありませんか。

余語委員長：よろしいですか。無いようですので議題1については終了します。

続きまして、「その他」について、事務局から何かありませんか。

後藤総務課長：事務局からの議題はありませんけれども、河村先生よりコロナウイルスに関しまして資料を頂戴しております。説明をよろしくお願ひしたいと思ひます。

余語委員長：よろしくお願ひいたします。

河村委員：それでは、コロナウイルスについて少し話しをしたいと思ひます。

今、コロナウイルスが大流行してしまひて、社会生活にも影響している

わけですが、最初出始めてから2年以上経過しておりますけれども、これに対してどのような対策をしたら良いかということで、当初から言われているのは、消毒をする、マスクをつける、体温を測る、そのようなことをして防衛してきたわけですが、アルコール消毒がどの位の効果があるかを今回お話ししようかなと思っております。資料にコロナウイルスの基本的な構造が描いてあります。周りに丸い突起がいっぱいですが、これが色々な形をしているものですから、人の細胞にここがくっついて、中の蛋白やRNA遺伝子が細胞の中に入って、細胞の中で増殖して新たなウイルスを作り、放出されて他の人に移っていきます。周りにでている突起はどんどん形が変化していきます。これら数十個の突起物がみな同じ形をしていればいいのですが、これが全部違った形をしていて、オミクロン株ですと、恐らくかなりいろんな形のものが出来上がっています。このうちの1種類でも細胞にくっついていくと感染してしまいます。形が変わると、中には変なものが出て感染力が強くなったりする。それが変わると中の遺伝子も少しずつ変わってくるので、強くなったり弱くなったりします。コロナウイルスの基本的な構造を見てもらうと、赤色部分は遺伝子 RNA、周りの青色部分を脂質二重膜（エンベロープ）と呼んでいます。コロナウイルスには、脂質二重膜はアルコールに触れると溶けてしまい、ウイルス自体が壊れてしまうので、コロナウイルスには、アルコール消毒は非常に有効であります。コロナウイルスはアルコールが効くかということをおそらくニュースでは聞くことがなく、なぜか手を洗えと言っています。手を洗うよりアルコール消毒をした方が一番効果があるはずなんですけど、余り言われていません。そういうことですのでアルコール消毒が非常に効果があるということが分かっていたかと思えます。消毒用アルコールについては、例えばビールですとアルコールの濃度は6~7%位、日本酒ですとアルコールについては12%位なのでそれでは効きませんが、60%、70%のものが一番浸透性があるということで、消毒用のアルコールは60%、70%となっています。ただ、濃度が濃ければいいという問題ではありません。また、何でも効くわけではなく、エンベロープの膜がない一重膜（ノンエンベロープ）というものについては、基本的にはアルコールが効きません。例えば、ノロウイルスは、冬になると食中毒の原因になりますが、これにはいくらアルコールで洗っても効かない。コロナウイルスだからアルコールがよく効く。そのことを知っていただければと思います。

また、PCR 検査は陽性になったかどうか調べるものですが、内容としては中の遺伝子の格好をみるもので、みるためには、遺伝子 RNA を取り

出して機械で増幅したものを検出しているのです。しかし、ウイルスの数が 100 個でも 10,000 個でも同じように限界まで増幅されていっぱいになりますので量は分かりません。このようなことから、PCR 検査で陽性と言われた場合は、コロナウイルスに感染しているとだけは言えますが、量が分からず少なく検出できなかったからといってコロナウイルスにかかってないとは言えないのです。50%や 70%の検出率であるというのはそういうことです。本来なら 1 個で行っても検出できるのが理想なのですが。

今日お話したようなコロナウイルスの性質を知っていただければ、今後、役にたつと思います。

以上です。

余語委員長：どうもありがとうございました。新型コロナウイルスに対してアルコール消毒の効果はあとよく分かりやすく説明していただきまして、ありがとうございました。

余語委員長：ほかに何かありませんか。

永井事務局長：委員の皆様方の任期でございますけれども、この 3 月 31 日までとなっております。恐らくこのメンバーでお願いしていく管理委員会は最後ではないかと思われまます。これまで委員を引き受けていただきまして、この場をおかりいたしまして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

余語委員長：ほかに何かありませんか。無いようですので本日予定しておりました議事を終了します。これをもちまして、令和 3 年度小牧岩倉衛生組合環境センター処分場管理委員会第 2 回定例会を閉会いたします。本日は、お疲れ様でした。